

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

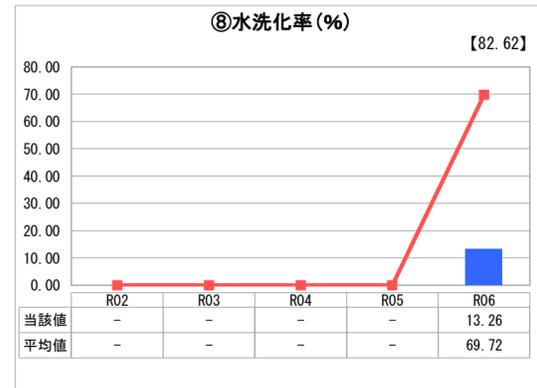
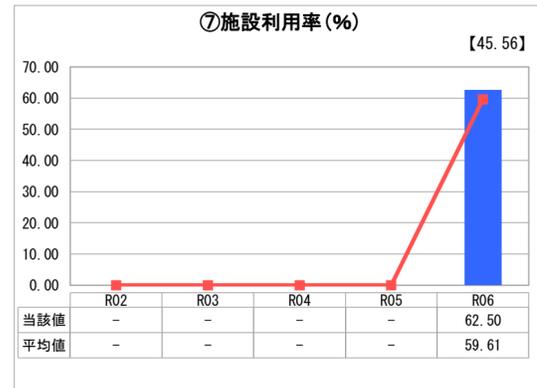
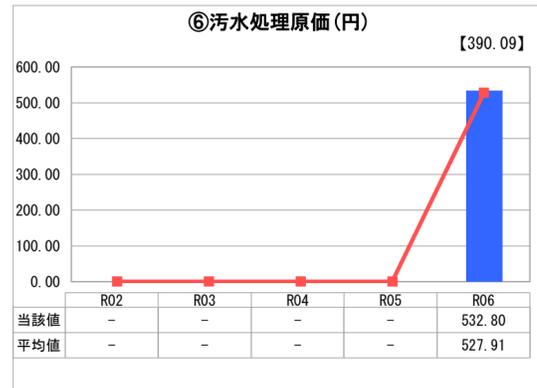
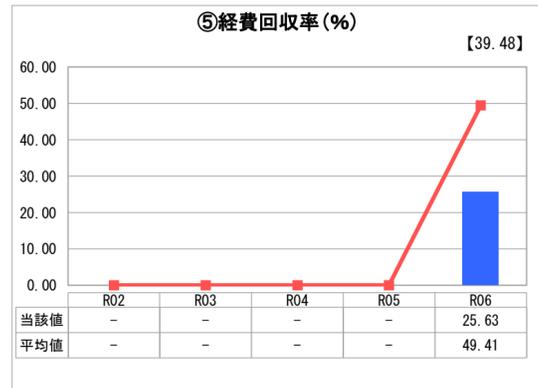
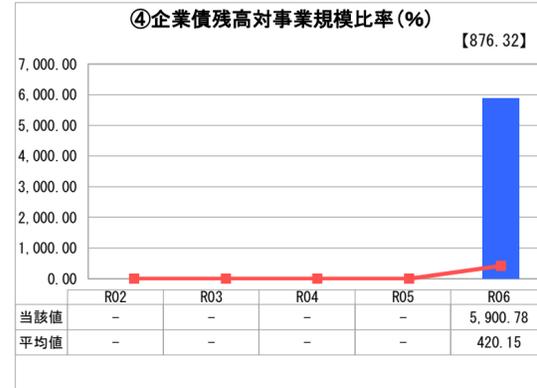
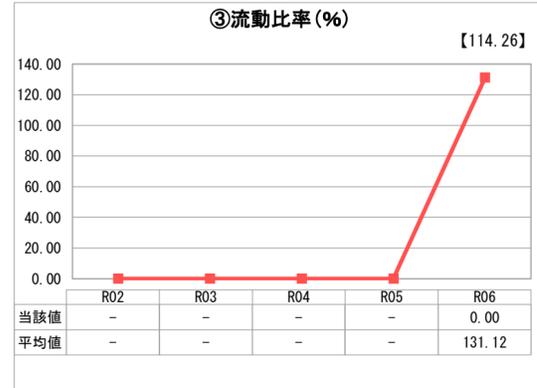
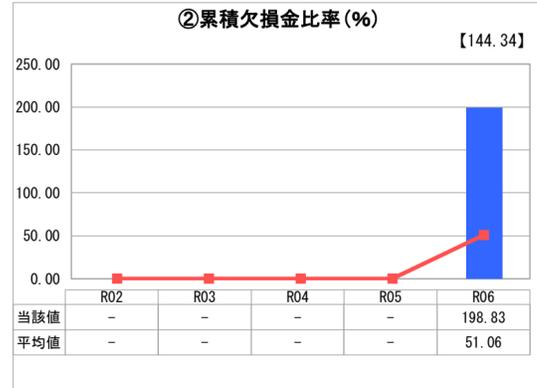
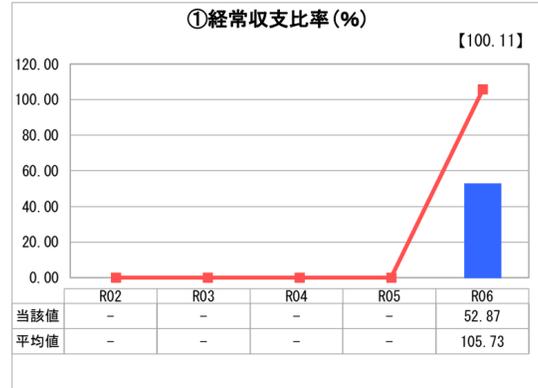
北海道 中川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	個別排水処理	L3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	△16.09	21.10	100.00	3,175

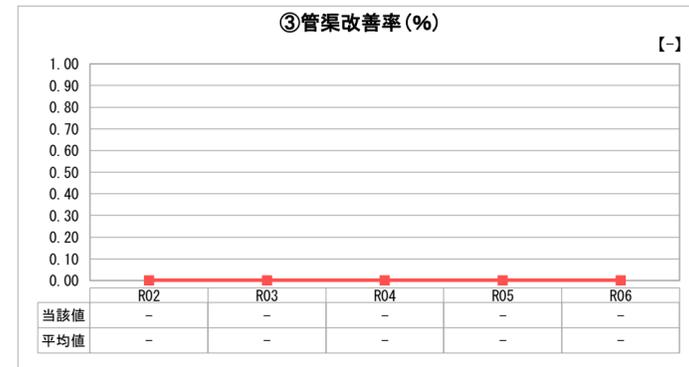
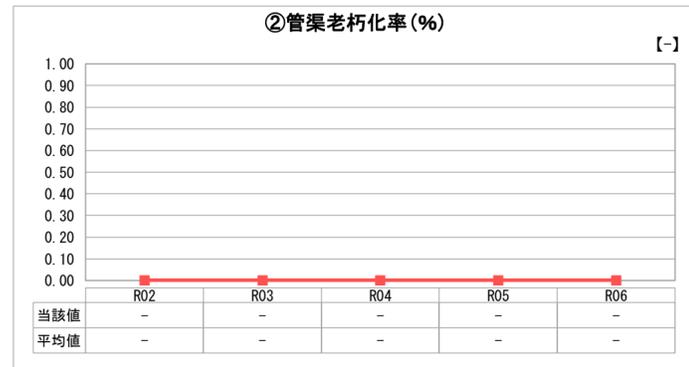
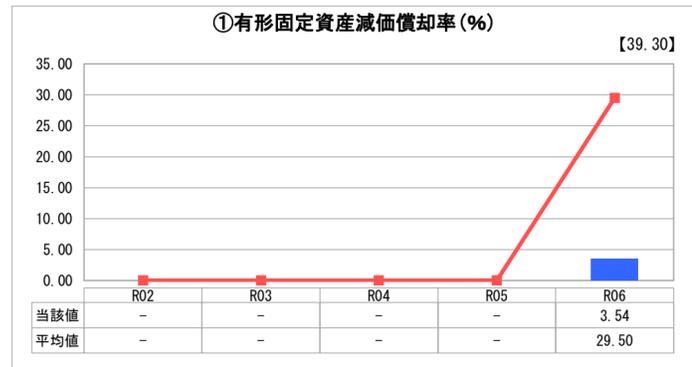
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,269	594.74	2.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
264	593.95	0.44

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

本町の個別排水処理事業は、類似団体平均と比較すると汚水処理原価が高い為、経費回収率が低い水準にあり、経費回収率が低い状況となっている。経費回収率は低く、一般会計に依存している状態といえます。引き続き経費の節減に取り組み、経営の健全化を推進します。

### 2. 老朽化の状況について

平成25年度より事業を実施しており、法定耐用年数以上の浄化槽は無いが、適切な維持管理（保守点検）を実施し長寿命化を図っていく。

### 全体総括

令和6年度より法適用となり前年度数値については記載がない。  
本町は令和3年度に料金改定を行い収益の増収を図ったが、人口減少等が進む中で使用料収入の増加が見込めない状況にあり、一般会計からの繰入により運営している状況にある。水洗化率の向上に努めるとともに維持管理等のあり方などを見直し、将来に向けた経営の見直しをしていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。